

■児童・生徒の学力の状況

- 全国学力・学習状況調査の結果から、国語は事実をもとに、決められた条件で考えをまとめていく力を高めていく必要がある。算数は図形領域において習った面積の公式を具体的な生活の場面において活用する力を高めていく必要がある。
- リーディングスキルテストの結果から、自分と友達との意見交流を図りながら、同義か異義かを判断する力と、主語・述語・指示語などを正しく判断する力に課題がある。

■授業革新推進に向けた、指導上の課題  
※「読み解く力」の育成を踏まえて

- 教科書の文章や図表等を読む力の向上
- 身の回りのことと学習したことを結び付ける工夫
- 相手の考えを共有することで考えを深めていく協働学習の充実

■学校経営方針より（学力向上に関わる内容から）

- 生活科・総合的な学習の時間を中心に、児童が見通しをもって取り組めるように単元デザインを作成し、児童が意見を交流し考えを深めるために志一小式「つなげタイム」を行い、単元のゴールを意識しながら探究的な学習を行う。
- 指導力の向上をめざし、主体的・対話的で深い学びの授業への授業革新を進める。そのため校内研究やOJTを充実させ、教員の資質向上を図る。
- GIGAスクール構想に基づいた一人一台端末のさらなる活用を図る。意図的に活用場面を増やしていくとともに一人一台端末を活用した自由進度学習を取り入れることにより、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図っていく。

■授業革新推進に向けての具体的な方策

視点1	視点2	視点3
板橋区授業スタンダードの徹底	読み解く力の育成	生活科・総合的な学習の時間の充実
○各教科等の授業において、共通の板書カードを用い「学習課題・めあての設定→自力解決→集団解決→まとめ・振り返り」等の学習の流れを全学級で統一して行う。	○授業の中で教科書等の文章や図表等から読み取ったこと（INPUT）を基にして、分かったこと、考えたこと（THINK）を相手に伝える（OUTPUT）学習過程を意識して設定する。	○生活科・総合的な学習の時間を中心に、「つなげタイム」を展開する中で探究的な学習からアクション（実体験や行動、発信）に結びつける。

■いたばし学び支援プラン2025の実現に向けた具体的な取組

小中一貫教育の推進 板橋のiカリキュラムの活用	学習環境の充実	探究的な学習の推進
○学びのエリアの連携を深め、9年間を見据えた取組みや教育カリキュラムを充実させる提案をし実施する。  ○「これからの板橋を語れる子」に育つよう各学年の視点を明確にし地域に関わる活動を計画し、取り組む。	○一人一台端末を活用して、個々児童の個別最適な学びの充実を図る。  ○地域の図書館と連携し、学級文庫や学習に関連する図書の充実を図る。また、図書ボランティアや地域の図書館による読み聞かせや、読書週間の設定を行い、読書活動を推進する。  ○児童が一人一冊持っている国語辞典を活用し辞書を引く習慣を身に付け語彙力を高める。	○生活科・総合的な学習の実践を生かし、各教科等でも探究的な学習を取り入れ、児童が主体的に学習に取り組めるようにする。  ○学びを一過性のものにならないために、探究的な学習を進め生活科・総合的な学習の時間の学習が、地域の課題につながり、自分に関わることで継続的に考え行動ができるようにする。